

この街に住むんじやなかった？

介護・福祉講座に参加して

丸山角治

投稿

6月は「作るうかい」の介護・福祉を考える講座全4回に参加し、ケアプラン（1週間のメニュー）を作る練習をして、認知症が出てきた母のことで苦労した20年以上前を思い出したりした。

ここはやっぱり腹をすえて、住民税や健康保険料・介護保険料を払ってきたんだから、それに見合う公共サービスを要求して行くほかない。役人は老人があきらめるか死ぬのを待っているかも知れぬが、そうは行かない。

ここで学んだ結果、心にわき上ってくるのは「太宰府で人生最後の日々を送って大丈夫だろうか？」という疑問と不安である。やる気に乏しい行政をはじめとして、近隣他市と比べ見劣りする福祉の現実に改めてゾツとした。では「ここに住むんじやなかった」と、中央区のマンションを買ったり、大野城や春日へひっこそうに

支援課とセンターの間の連携、利用者の便宜から考えると、市役所かその近くにおくべきで、幸い近所には、介護保険3事業や配食サービスを廃止した！社会福祉協議会のビルがある。ここに同居し将来は一体化すべきだ。

に、民営化した小ぶりの窓口を設けている。黙っていると、このよんだ行政体質は、このままにしていくとますますひどくなるばかりだ。

井本県議が高額の不正受給

まだ「辞職します」の声を聞かない

西日本新聞7月10日の朝刊を開いて、唖然として、目が点になって人は多いのではないか。

太宰府市選出の井本邦彦Ⅱ県会議員（自民党）が、偽領収書を約200枚も出して、3年間で約1020万円を不正受給していたとか。それも、自分の事務所で長女を働かせて、その給料にあてていた由。もともと事務所に親族の雇用は認められていないから、これは二重の不正である。

井本氏は「以前から同様の処理をしていた」という。新聞ではたまたま3カ年分の報告だが、氏の任期はいま5期目で、既に17年以上が経過している。そうすると不正に操作した金額は、一体どれほどにのぼるのか。

政務調査費の使途の監査が甘いことを利用した、これは「詐欺としか言いようがない」（同紙K氏談）行為である。

真の「まちづくり」は普通の市民が考え・発言し・行動することから

市民グループ
住みよい太宰府を作ろう かい
略称 <作るうかい>

作ろう！

96号 (12・8・10)

<問い合わせ・連絡先>

〒818-0101

太宰府市観世音寺4-17-22

観世 広

電話とFAX 092・922・6801

急ぎの場合は 090・9602・9508

Eメール Kanze.hiroshi@ezweb.ne.jp

今月は、14,500部発行

買い物や日常生活の
困ったを即解決!

げんき太宰府号

NPO法人
だざいふソーシャルクリエーション

太宰府市石坂1-10-12-102

DSC 092-928-0123
担当：前田(まえだ)

庭の手入れから
ビル建築まで

— 家に関することなら何でも —



1級建築士の兄弟が営む会社

平生建設

太宰府市五条2の11の1 第1車庫ビル
☎092-925-3939/080-1715-7466(平川)

